

JVC

ハウジング一体型カラーカメラ

取扱説明書

型名

TK-S8401WP

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「取扱説明書（メニュー設定編）」「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

本文中の記号の見かた

【ご注意】：操作上の注意が書かれています。

【メモ】：機能や使用上の制限など、参考になることが書かれています。

【参照】：参照ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

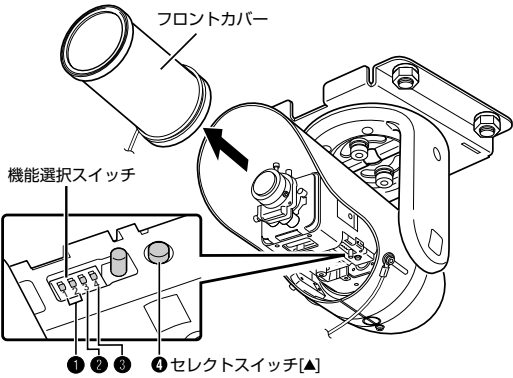
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™[®]、[®]などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のために予告なく変更することがあります。

カメラの取り付け方は、裏面をご覧ください。

B5A-1473-00

機能選択スイッチの設定

カメラを取り付ける前に、フロントカバーをはずし、カメラ本体にある機能選択スイッチの設定を行なってください。スイッチ設定は先の細いドライバーなどで行なってください。



① [CABLE LENGTH] ケーブル長切換スイッチ

本機とCCU（カメラコントロールユニット）間を接続する同軸ケーブルの長さによって、下記のようにスイッチ設定が必要です。

スイッチ設定	SHORT		MID	LONG	EXT LONG
ケーブル長	3C-2V	0m～165m	165m～200m		
	5C-2V	0m～165m	165m～333m	333m～500m	
	7C-2V	0m～165m	165m～333m	333m～500m	
	5C-FB	0m～200m	200m～400m	400m～600m	

（出荷位置：SHORT）

【メモ】

- EXT LONG設定はご使用になれません。正しく設定しないと画が乱れることがあります。
- モニターによっては、画面右端または左端に黒い帯が出る場合があります。

【参照】取扱説明書（メニュー設定編）（別冊）「H PHASE」参照

その他の機能設定について

DAY/NIGHT設定

【参照】取扱説明書（メニュー設定編）（別冊）「DAY/NIGHT」参照

逆光補正設定

【参照】取扱説明書（メニュー設定編）（別冊）「BLC」参照

ホワイトバランス設定

【参照】取扱説明書（メニュー設定編）（別冊）「WHITE BALANCE」参照

接続ケーブルについて

● CCU(カメラコントロールユニット)と接続

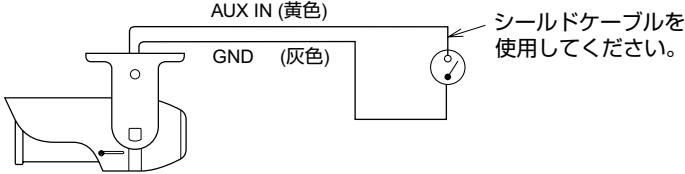
使用するCCU、ケーブルにより最大延長距離は右記のようになります。

適合CCU	ケーブルの種類	最大延長距離
TK-U1006/TK-U1802/ TK-U1403/TK-U1601/ TK-U1901/SW-U1403	3C-2V	200m
	5C-2V	500m
	7C-2V	500m
TK-U1601/TK-U1901	5C-FB	600m

アラーム入出力端子について

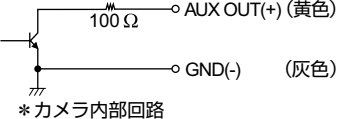
■ アラーム入力端子

- 赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
 - 電圧を供給しないでください。
 - メニュー設定で接点がショート(MAKE)時にアラームとするか、接点がオープン(BREAK)時にアラームとするか設定可能です。
 - アラーム信号は最低でも200 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。



■ アラーム出力端子

- 報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。
- アラーム出力信号はオープンコレクター出力となっており、メニュー設定でアラーム時の接点をショート(MAKE)とするかオープン(BREAK)とするか設定可能です。(耐圧16 V、30 mA以下)
 - この端子は、極性があります。必ず－側出力より＋側出力の電圧が高くなるよう接続してください。逆電圧を加えると破損します。



接続機器に応じてメニュー設定を行なってください。

【参照】取扱説明書（メニュー設定編）（別冊）「AUX FUNCTION」参照

【メモ】

- アラームケーブルを使用しない場合はショートしないようにそれぞれ絶縁テープなどで処理を行なってください。ショートするとアラームモードに入ります。

保証とアフターサービスについて

■ 保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■ 保証期間について
保証期間は、お買い上げ日から1 年間の通常保証と2 年間の追加延長保証の合計3 年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他の詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■ 消耗部品について
下記部品は消耗部品です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

- 部品名：撮像素子(CCD)、一年保証のみ。追加延長保証対象外です。

■ サービス窓口
・下記URL をご覧ください。
http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html
・カスタマーサポートセンター(045-939-7320)

■ サービスについてのお問い合わせ先
修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

© 2016 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation

■ 修理を依頼されるときは
お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名：ハウジング一体型カラーカメラ
型名：TK-S8401WP
お買い上げ日：
故障の状況：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所、お名前、電話番号：

■ 商品廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話

0120-2727-87

携帯電話・PHS

0570-010-114

一部のIP電話など

045-450-8950

FAX

045-450-2308

〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ http://www3.jvckenwood.com/
株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
B5A-1473-00

安全に関するご注意

- 本機を設置する場合は、専門技術が必要となります。設置は、販売店にご依頼ください。
- 本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘電に對しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください。
- 設置説明に従わない不完全な取り付けによって、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねます。設置は十分に注意して行なってください。
- 取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

正しくお使いいただくためのご注意

■ 保管および使用場所

- 設置する場合、次のような場所は避けてください。
 - 厨房など蒸気や油分の多い場所
 - 使用周囲温度(-10℃～50℃)を超える場所
 - 腐食性のガスが発生する場所
 - 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
 - 振動する場所
 - ほこりの多い場所
 - 過度の風圧や衝撃が加わる場所
- ラジオやテレビの送信アンテナの近く、変圧器・モーターなど強い電磁波が発生する機器の近く、またはトランシーバーや携帯など無線機器の近くで本機を使うと、画像にノイズがのったり、色ムラを起こすことがあります。
- 本機を冷気があたる場所やエアコンの噴出口の近くに設置しないでください。急激な温度変化によってフロントカバーのガラスがくもるおそれがあります。
- 本機はIP66準拠ですが、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

■ お手入れについて

- 本機の汚れは乾いた柔らかい布などでふきとってください。また、フロントカバーのガラスは、レンズふき用布（または柔らかい布）を使用して汚れをふきとってください。シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからがきしてください。

■ 省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため電源を切ってください。

■ 著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像の著作権者であるか、または著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像として使用する場合、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- また、複写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

仕様

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

水平解像度:650TV 本(標準)

映像S/N:
52 dB (標準,AGC OFF,CRTモード)

撮影素子:
1/3型インターライン転送方式CCD

最低被写体照度:
カラー映像:
0.05 lx (標準,50 %,F1.2,AGC HIGH)
白黒映像:
0.006 lx (標準,50 %,F1.2,AGC HIGH)

ズーム比:約3.7倍

焦点距離:2.8 mm～10.5 mm

最大口径比:
F 1.2(f = 2.8 mm)～F 2.7(f = 10.5 mm)

最小絞り値:F 360 相当

包括角度(理論値):
f = 2.8 mm のとき99.5°(H)×73.2°(V)
f = 10.5 mm のとき27.4°(H)×20.6°(V)

電源:CCU から供給

消費電力/電流:230 mA

質量:
約1.7 kg(本体)
約0.5 kg(取付ブラケット)

周囲温度:
－10℃～50℃(動作)
0℃～40℃(推奨)

防じん・防水性:IP66(JIS C 920)

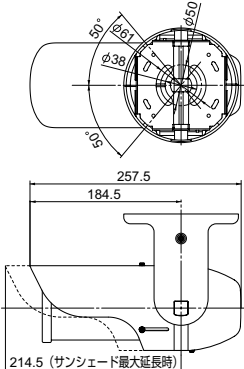
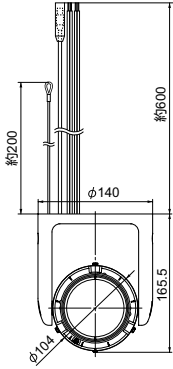
適合コントロールユニット/リモコン:
SW-2200/RM-P2200、
SW-U1403/RM-P1000、
SW-2600/RM-P2600

適合CCU:
TK-U1006/TK-U1802/
TK-U1403/TK-U1601/
TK-U1901/SW-U1403

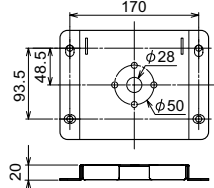
添付物・付属品:
保証書 × 1
安全上のご注意 × 1
取扱説明書 × 2
レンチ × 1
ボルト(M8×16 mm)× 2
平ワッシャー × 2
ばねワッシャー × 2
取付ブラケット × 1

■ 外形寸法図(単位:mm)

<本体>



<取付ブラケット>



カメラ本体の取り付け

ご注意

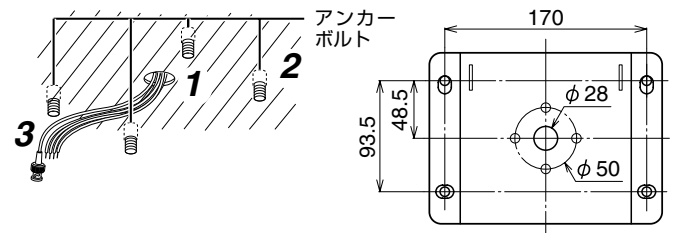
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分にご注意ください。
- 本機の質量は、約2.2 kg(取付ブラケット含む)あります。落下には十分注意して取付作業を行なってください。
- 設置時は、カメラ取付部をつかんで作業してください。

天井に穴をあける

壁に取り付ける場合は、手順の中で "天井" と書かれた部分を "壁" として作業してください。

ご注意

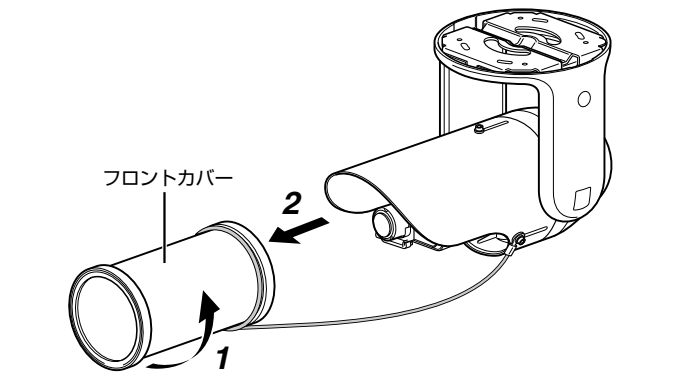
- 天井の強度を確認ください。本機が落下する原因となります。十分な強度をもっていない場所に取り付ける場合は、設置前に補強を必ず行なってください。



- 天井に穴(φ20)をあける
- アンカーボルトを立てる
取付ブラケット(付属)を天井に取り付けるため、アンカーボルト(M8×35 mm以上)を4本立てます。
- 天井からケーブルを取り出す

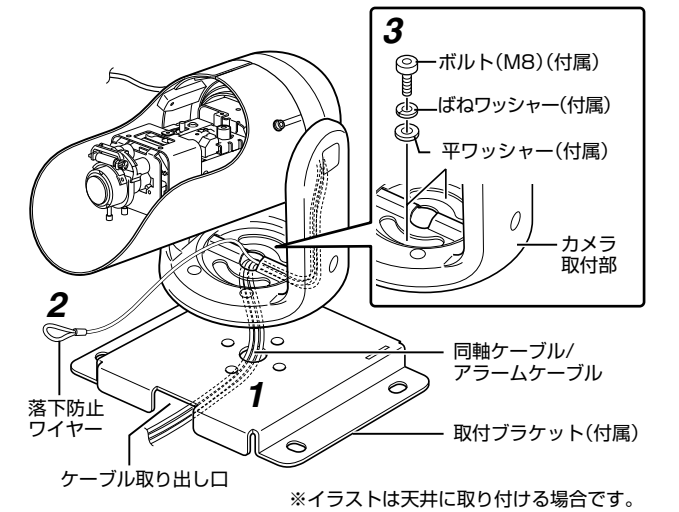
フロントカバーをはずす

スイッチ設定を行うため、フロントカバーをはずします。



- フロントカバーを反時計方向に回します。
- フロントカバーをレンズ方向にはずします。

取付ブラケットにカメラを取り付ける



※イラストは天井に取り付ける場合です。

- カメラのケーブルを取付ブラケットの穴に通す
- 落下防止ワイヤーをカメラ取付部中心の穴から出す
- カメラを取付ブラケットにボルト(M8)2個で取り付ける
付属のレンチでボルトを締め付けます。

■天井に取り付ける場合

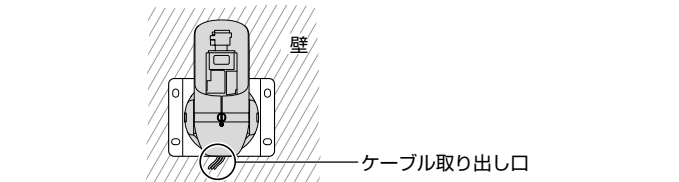
カメラの撮影方向をケーブル取り出し口に向けて、取付ブラケットに取り付けてください。

■壁に取り付ける場合

カメラの撮影方向をケーブル取り出し口の反対側に向けて、取付ブラケットに取り付けてください。

メモ

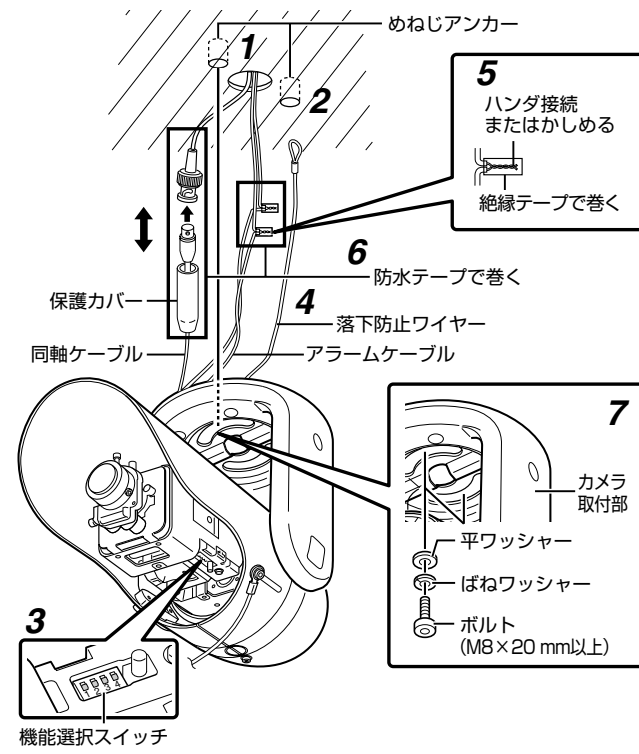
- 壁に取り付ける場合は、天井に取り付ける場合とカメラの向きが異なります。防滴のためにケーブル取り出し口が下側になるようにカメラを取り付けてください。



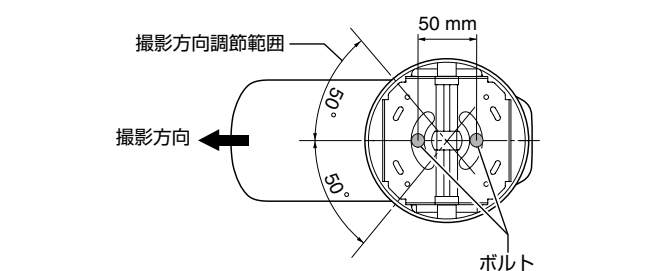
ご注意

- カメラを取付ブラケットに取り付けるときに、落下防止ワイヤーをはさまないように注意してください。また、ケーブルはカメラ取付部の溝に収納してください。

天井にカメラを直付けする場合



- 天井に穴(φ20)をあけ、ケーブル類を天井から出す
- カメラ取り付け用めねじアンカー(M8)を2本埋め込む



- Switchの設定をする(“機能選択Switchの設定”)
- 天井とカメラをつなぐ、落下防止ワイヤーを取り付ける

ご注意

- カメラから出ている落下防止ワイヤーを、十分強度のある場所(天井スラブなど)に取り付けてください。

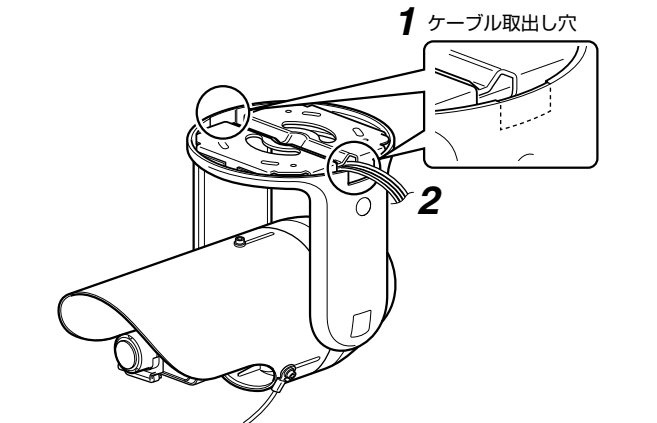
- ケーブル類を接続する(“ケーブルを接続する”)
- 防水テープをケーブル類に巻く
- カメラを取り付ける
ケーブル類を天井側に入れながら、ボルト(M8×20mm以上)を締め付けます。

ご注意

- 付属のボルトは、取付ブラケット用です。カメラの取り付けには使用しないでください。
- ボルト、平ワッシャーおよびばねワッシャーはステンレス製をお使いください。スチール製をお使いの場合は、設置したあとで塗装するなどのさび止め処理を施してください。

ケーブルを横出しして取り付けする場合

カメラを天井や壁に直付けする場合、穴をあけずにケーブルを横出しして取り付けることもできます。カメラの取付方法は、“天井にカメラを直付けする場合”と同じです。



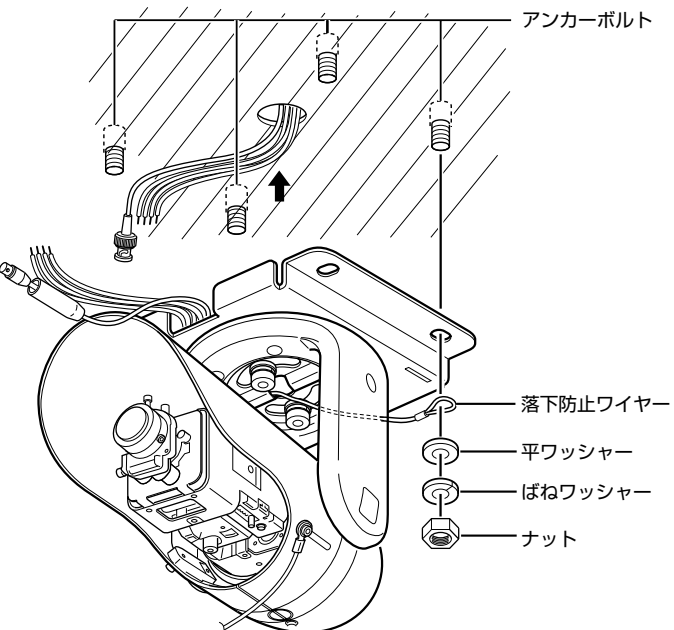
- ケーブル取出し穴をニッパーで切断し、ラジオペンチなどで割る
横出しする方向のケーブル取出し穴を割ります。
- ケーブルを横出しする
- “天井にカメラを直付けする場合”の手順2～7を行う

電工ボックスを使用して取り付けする場合

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

天井にカメラを取り付ける

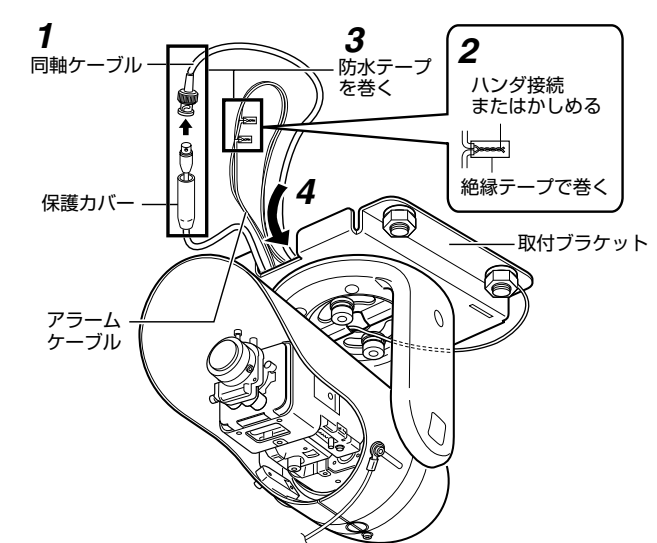
カメラをナット、平ワッシャーおよびばねワッシャーでアンカーボルトに取り付けます。カメラを取り付けるとき、落下防止ワイヤーを一緒に取り付けます。



ご注意

- ナット、平ワッシャーおよびばねワッシャーは、ステンレス製をお使いください。スチール製をお使いの場合は、設置したあとで塗装するなどのさび止め処理を施してください。

ケーブルを接続する



- 同軸ケーブルを接続する
保護カバーを下げて、コネクタどうしを接続します。接続が完了したら保護カバーでコネクタを覆って、コネクタの金属部を絶縁、保護します。
- アラームケーブルに接続する
- 防水テープをケーブル類に巻く
- ケーブルを収納する
接続したケーブルを取付ブラケットの中に収納してください。

カメラの調整

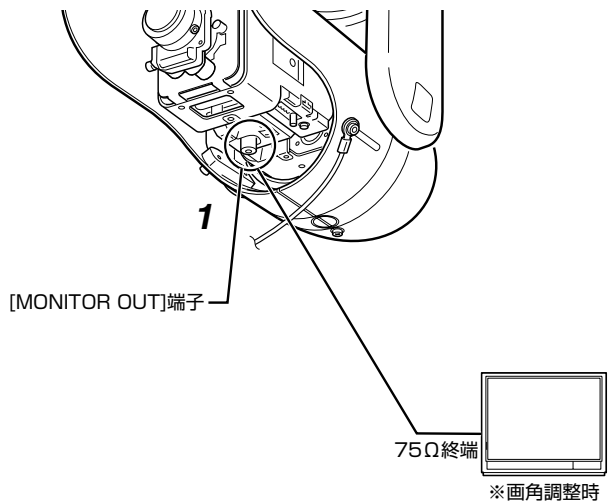
画角を調節する

実際の映像を見ながら、画角の調節を行います。カメラ本体を触る前に必ず[MONITOR OUT]端子などの金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気によりカメラが故障する場合があります。

1 テストモニターを取り付け、カメラの電源を入れる

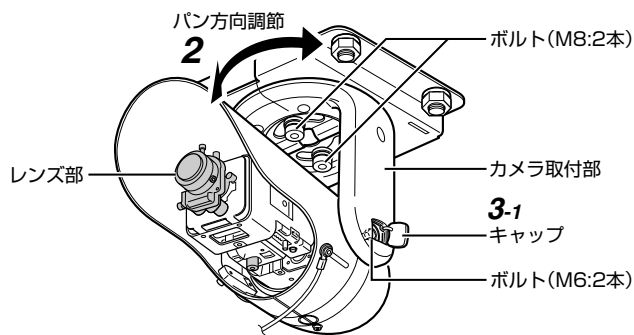
カメラの撮影方向、画角やフォーカスの調節を行うため、本機にテストモニターを接続します。

[MONITOR OUT]端子にビデオケーブルで接続してください。



2 パン方向の調節をする

- ①カメラを取付ブラケットに取り付けているボルト(M8:2本)を付属のレンチでゆるめます。
- ②カメラ取付部を持ち、パン方向を調節します。調節範囲は±50°です。
- ③ボルトを締め付け、カメラを固定します。

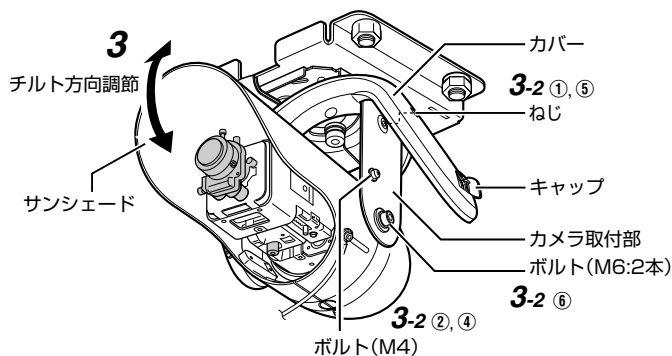


3 チルト方向の調節をする

3-1 チルト方向の粗調節

- ①カメラ取付部側面のキャップ(2箇所)をあけます。
- ②ボルト(M6:2本)を付属のレンチでゆるめます。
- ③サンシェードを持って、チルト方向を調節します。調節角度は1ステップ約18°です。
- ④微調節を行う場合は、ボルト(M6:2本)を仮止めして手順3-2へ進みます。
- ⑤微調節を行わない場合は、ボルト(M6:2本)を指定トルクで十分締め付けてキャップをとじます。(※ ご注意)

3-2 チルト方向の微調節



- ①カメラ取付部の右側面のねじをゆるめてカバーをひらきます。
- ②ボルト(M4)をレンチでゆるめます。
- ③サンシェードを持って、チルト方向を調節します。調節範囲は約20°です。
- ④ボルト(M4)を指定トルクで締め付けます。(※ ご注意)
- ⑤手順①でひらいたカバーを閉じ、ねじでとめます。
- ⑥手順3-1の④で仮止めしたボルト(M6:2本)を指定トルクで十分に締め付け、キャップをとじます(※ ご注意)

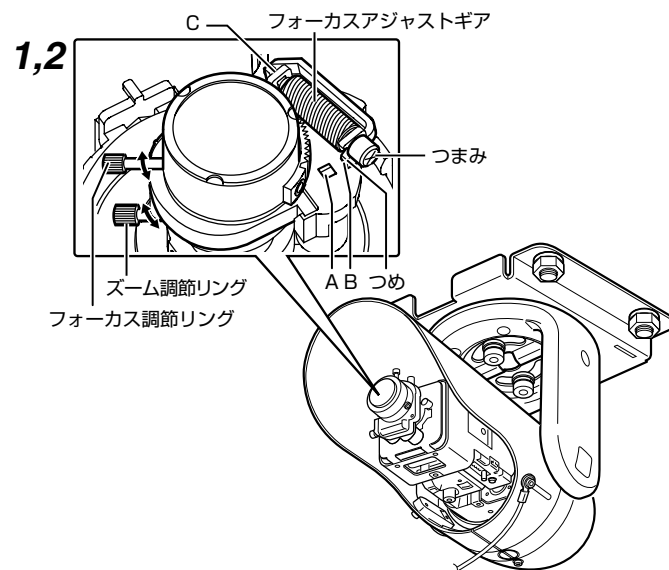
ご注意

- ・チルト方向の微調節は、必ずボルト(M4)をゆるめてから行なってください。ボルトを締め付けた状態で、チルトの微調節を行うと、ボルトが緩むことがあります。
- ・チルト方向を調節し、チルト位置が決まったら、カメラ取付部両側のボルト(M6およびM4)を必ず、下記の指定トルクで締め付けてください。
 - ・M6:3.93 N・m以上、M4:0.98 N・m以上

レンズを調節する

1 画像サイズを調節する

ズーム調節リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かし画像サイズを調節します。調節が終わったら、固定ねじを締めます。

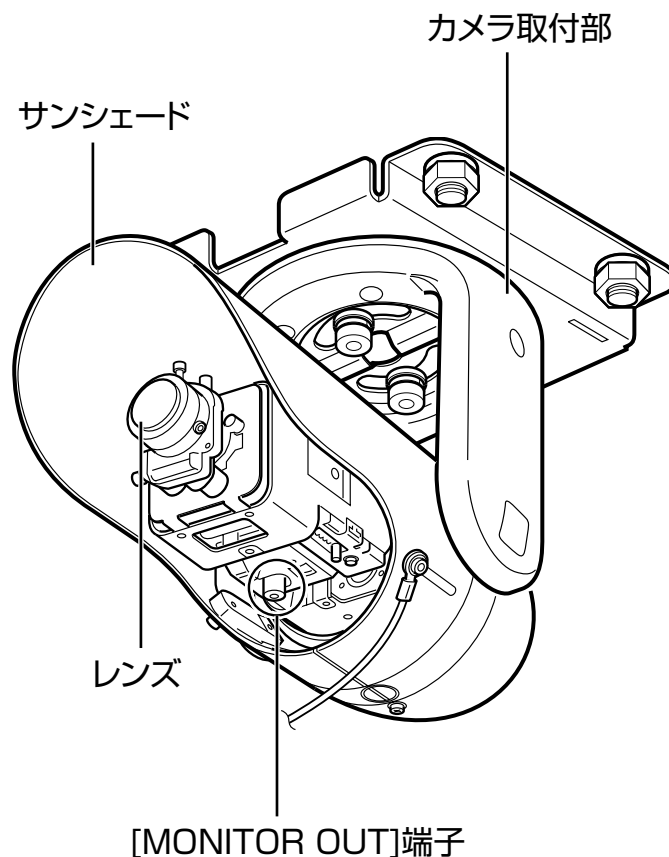


2 フォーカスを粗調節する

- ①フォーカスアジャストギアのつまみを持ち上げ、つまみを図のAからはずしBに入れ、ギアのかみ合わせを解除します。

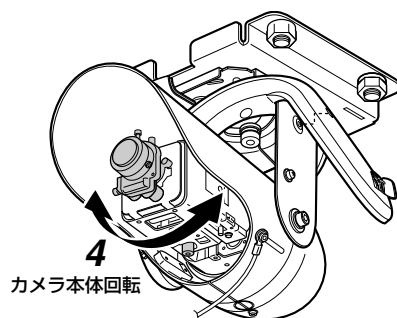
ご注意

- ・ギアをBより外側に開きすぎた場合、破損を防ぐためギアの軸が軸受け(図中C)からはずれます。このような場合は軸を軸受けCに入れなおし、元の状態にもどしてください。
- ②フォーカス調節リングの固定ねじをゆるめ、左右に動かし、フォーカスを調節します。



4 カメラ本体を回転させ、画面を調節する(壁へ取り付ける場合のみ)

カメラを壁に取り付けた場合、画面の傾きが正常になるようにカメラ本体を調節します。調節範囲は±110°です。



ご注意

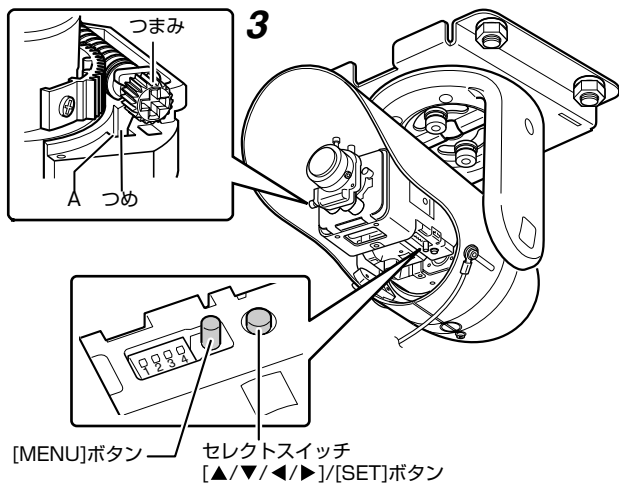
- ・カメラの撮影方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

3 フォーカスを微調節する

- ①セレクトスイッチを[▲]方向に長押しします。
 - ・フォーカスアジャストモードになり、画面に"FOCUS ADJUST MODE"と表示されます。
 - ・絞りが開放になり被写界深度が浅くなるとともに輪郭が強調されます。
 - ・フォーカス調節後に、セレクトスイッチ[▼、◀、▶]/[SET]、[MENU]ボタンのいずれかを押し、フォーカスアジャストモードが解除されます。また、約30秒後に自動解除されます。

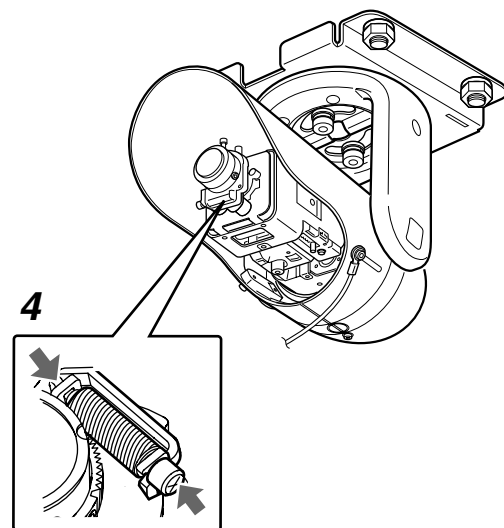
メモ

- ・フォーカスアジャストモードにすると、電子シャッターが自動的に使えなくなるため、画面がちらつくことがあります。故障ではありません。
- ②被写体を撮影します。
- ③フォーカスを微調節します。
 - ・つまみを図のAに戻してから、フォーカスアジャストギアをつまみを回し、フォーカスを最適位置に調節します。



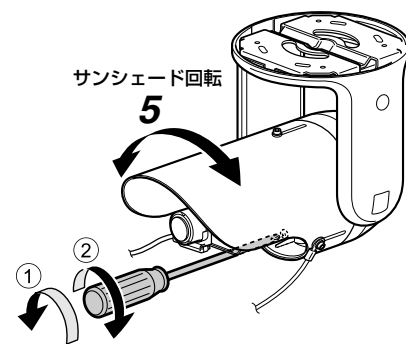
4 フォーカス調節リングの固定ねじを締める

フォーカスアジャストギアを、図の矢印の方向に、指ではさんで押さえながら、フォーカス調節リングの固定ねじを締めます。



5 サンシェードを回す(壁へ取り付ける場合のみ)

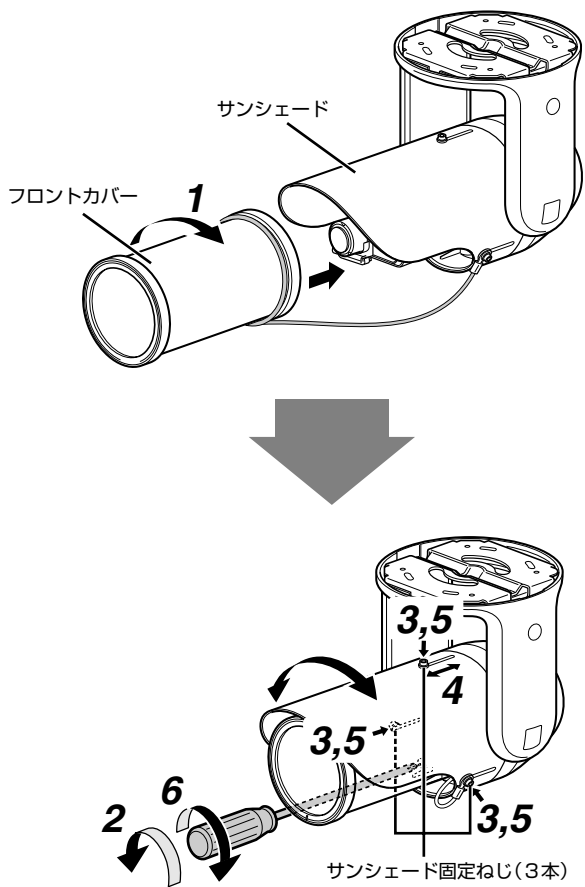
カメラ本体を回した場合、以下の手順でサンシェードを回してください。



- ①カメラ本体下のねじをゆるめて、サンシェードを回す。
- ②カメラ本体下のねじを締める。

サンシェードの調節／防じん・防水処理

サンシェードを調節する



1 フロントカバーを時計方向に回して、取り付ける
フロントカバーがしっかりと取り付いているのを確認してください。

2 カメラ本体下のねじをゆるめる

メモ

・ フロントカバーを傷つけないように、長いドライバーをお使いください。

3 サンシェード固定ねじ(3本)をゆるめる

ねじがゆるめにくい場合は、サンシェードを回してください。

メモ

・ サンシェード固定ネジをはずすと、フロントカバーの落下防止ワイヤーがはずれます。サンシェード固定ネジをはずさないでください。

4 サンシェードを前後に動かして、位置を調節する

メモ

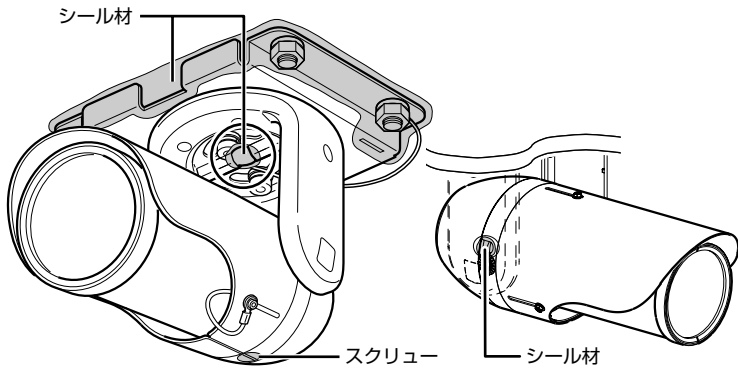
・ フレアやゴーストが発生するときに調節してください。
・ レンズの画角とサンシェードの位置によっては、サンシェードが画面に写りこむ場合があります。

5 調節後、サンシェード固定ねじを締め付け固定する

6 サンシェードを適切な位置に回し、カメラ本体下のねじを締め付け固定する

防じん・防水処理をする

防じんのために、取付ブラケットのケーブル取り出し口およびすきまと、カメラ取付部中心の穴をシール材(GEシリコン)で埋めてください。



ご注意

・ カメラ底面のスクリューは絶対にゆるめないでください。ゆるめたり、はずしたりすると、水や湿気が入り込み、レンズやフロントカバーのガラスがくもる場合があります。

memo